

3年数学課題 令和2年5月7日 (木)

※2年生までの範囲です。

※解答は解答用紙に記入しましょう。

※丸付けをしましょう。

※教科書などを見て、解き直し用プリントに解き直しをしましょう。

※ABCの記入用プリントを行ってください。Cが多いからダメということではないので、ご心配なく!

A・・・できたぞ B・・・できなかつたが次回はできるぞ C・・・わからないぞ

※解答用紙と解き直し用プリントとABCの記入用プリントの3枚を次回の確認日に提出しましょう。

1 次の  に当てはまるもっとも適切な言葉や数などを書きなさい。

※教科書に漢字で書いてあるものは、漢字を用いること。

(1) 単項式で、かけあわされている文字の個数を   $P$  という

(2)  $-x^4+6x^3-3y^2$  の次数は   $Y$  である。

(3)  $m$  を整数とすると、偶数は   $W$  と表される。

(4) 百の位の数が  $a$ 、十の位の数が  $3$ 、一の位の数が  $b$  である3けたの自然数を  $a$ 、 $b$  を使って   $W$  と表される。

2  $n$  を自然数とすると、 $n$  がいくつでも奇数になる式を、下の式の中から選び、記号で答えなさい。

$P$   $n-3$   $Y$   $3n$   $W$   $2n$   $E$   $3n+1$   $オ$   $2n-3$   $カ$   $2n+1$

3 次の数量を表す式を書きなさい。

(1) 1個  $a$  円のおいしい棒 5個の値段 (2) 1辺が  $r$   $cm$  の正方形の紙の面積

(3) 50円玉  $s$  枚と100円玉  $t$  枚を買ったときの代金

4 2020が2の倍数であることを説明せよ。

(1)  $a-2b+3c-4d+5e$  (2)  $(5a+3b-1)+(-5a+b-7)$

5 次の式の同類項をまとめなさい。「計算しなさい」ということです。

6 次の式を計算しなさい。

(1)  $-0.4(3x+1.2y)$  (2)  $(12a+4b)+2$  (3)  $\frac{1}{3}(15x-6y)-\frac{1}{2}(8x-6y)$

(4)  $\frac{3}{2}(8x-\frac{4}{9}y)-\frac{2}{3}(15x-y)$  (5)  $\frac{xy}{2}-\frac{-3x+2y}{3}$  (6)  $2x-\frac{7x-y}{6}$

(7)  $2x-6y-5$  (8)  $-5x+8y$   
 $+ 3x+2y-4$   $-) 4x-7y$

7 次の左の式の3倍から右の式の2倍をひきなさい。

(1)  $2x+4$   $-3x-3$  (2)  $4x+3y^2$   $9x-5y^2$

8  $a=4$ 、 $b=5$  のとき、次の式の値を求めなさい。

(1)  $3ab^2 \times 5a + 12ab$  (2)  $(-a)^2 \div 2a^2b^2 \times 3ab$

(3)  $(-a)^2 \div (2a^2b^2 \times 3ab)$  (4)  $6a^5b^2 \div (\frac{2}{3}ab)^2 + 27ab$

9 底面の半径が  $r$ 、高さが  $h$  の円柱 A がある。円柱 A の底面の半径を 2 倍にし、高さを半分にした円柱 B をつくるとき、B の体積は A の体積の何倍になるか。

12 3、7、11 のようなとなり合う数どうしの差が 4 の 3 つの整数の和は、3 の倍数であることを説明しなさい。

10 連続する 3 つの偶数の和は 6 の倍数であることを、文字式を使って次のように説明した。ア～エに当てはまる言葉や式や数を書きなさい。

$n$  を整数とし、連続する 3 つの偶数のもっとも小さい数を  $\square$ ア $\square$  とすると、  
連続する 3 つの整数は、 $\square$ ア $\square$ 、 $\square$ イ $\square$ 、 $\square$ ウ $\square$  と表される。

$$(\square) \text{ア} + (\square) \text{イ} + (\square) \text{ウ}$$

$$= 6n + 6$$

$$= 6(\square) \text{エ} \cdots \text{①}$$

$\square$ エ $\square$  は整数なので、これは 6 の倍数である。よって、連続する 3 つの偶数の和は 6 の倍数である

また、連続する 3 つの偶数の和に関して、他にどんなことが言えるか。書きなさい。

13 4 つの自然数を次のように並べる。

ア	イ
ウ	エ

- ① 自然数  $s$  をアに、 $s$  より 1 大きい数をイに書く。
- ②  $s$  より  $t$  大きい数をウに、 $s$  より  $t+1$  大きい数をエに書く。

例えば  $s=7$ 、 $t=3$  のときの表は、次のようになる。

7	8
10	11

荒井さんはこの並びを見て、斜めどうしの 2 数を加えると、 $7+11=8+10$  になっていることに気づいた。そして、 $s$ 、 $t$  の値を変えても、斜めどうしの 2 数の和が等しいのではないかと予想した。

- (1)  $s=6$ 、 $t=2$  のときの表を完成させなさい。


- (2) 4 つの自然数を  $s$ 、 $t$  を使って表し、表を完成しなさい。


11 7 の倍数 + 7 の倍数の和は、7 の倍数になることを説明しなさい。

- (3) 荒井さんの予想が正しいことを文字式を使って説明しなさい。

提出ポイント①

3年数学課題 解答用紙 令和2年5月7日(木) 提出日5月21日(木)

3年 組 番氏名 \_\_\_\_\_

10 ア	イ	ウ	エ
他に言えること			

3 (1)	円 (2)	㎡ (3)	円
-------	-------	-------	---

11	
----	--

4	
---	--

12	
----	--

5 (1)	(2)	
6 (1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	

13 (1)	(2)		
--------	-----	--	--

(3)	
-----	--

7 (1)	(2)
-------	-----

8 (1)	(2)	(3)	(4)
-------	-----	-----	-----

9	恒
---	---

提出プリント②

3年数学課題 解き直しプリント 令和2年5月7日(木)  
この用紙に間違えた問題の解き直しを行ってください。  
次のときにはできるような復習を行しましょう。  
足りないときは裏面も使って構いません。 提出日5月21日(木)

3年 組 番氏名

# 提出プリント③

3年数学課題 ABCの記入用プリント 令和2年5月7日(木)  
 ※ABCのどれかにOを付けてください。今後の参考にさせてもらいます。  
 Cが多いからダメということではないので、心配なく!  
 A...できたぞ  
 B...できなかつたが次回はできるぞ  
 C...わからないぞ  
 提出日5月21日(木)

3年 組 番氏名 \_\_\_\_\_

10	ア	A・B・C	イ	A・B・C	ウ	A・B・C	エ	A・B・C
----	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

さらに言えること  
 A・B・C

11	A・B・C							
----	-------	--	--	--	--	--	--	--

12	A・B・C							
----	-------	--	--	--	--	--	--	--

13	(1)	A・B・C	(2)	A・B・C
----	-----	-------	-----	-------

(3)	A・B・C							
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

1	ア	A・B・C	イ	A・B・C	ウ	A・B・C	エ	A・B・C	2	A・B・C
---	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

3	(1)	A・B・C	(2)	A・B・C	(3)	A・B・C	円
---	-----	-------	-----	-------	-----	-------	---

4	A・B・C							
---	-------	--	--	--	--	--	--	--

5	(1)	A・B・C	(2)	A・B・C
---	-----	-------	-----	-------

6	(1)	A・B・C	(2)	A・B・C	(3)	A・B・C
(4)	A・B・C	(5)	A・B・C	(6)	A・B・C	
(7)	A・B・C	(8)	A・B・C			

7	(1)	A・B・C	(2)	A・B・C
---	-----	-------	-----	-------

8	(1)	A・B・C	(2)	A・B・C	(3)	A・B・C	(4)	A・B・C
---	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

9	A・B・C	倍
---	-------	---

1	ア	次数	イ	4	ウ	$2m$	エ	$100a + 30 + b$	オ	$n$
---	---	----	---	---	---	------	---	-----------------	---	-----

3	(1)	$5a$	円	(2)	$y^2$	㎡	(3)	$50s + 100t$	円
---	-----	------	---	-----	-------	---	-----	--------------	---

4  $2020 = 2 \times 1010$   
 1010は整数なのでこれは2の倍数である。

5	(1)	$-3a - 2b + 8c$	(2)	$4b - 8$
---	-----	-----------------	-----	----------

6	(1)	$-1.2x - 0.48y$	(2)	$6a + 2b$	(3)	$\frac{9x - 7y}{6}$
(4)	$x + y$	(5)	$2x$	(6)	$\frac{5x + y}{6}$	

(7)	$5x - 4y - 9$	(8)	$-9x + 15y$
-----	---------------	-----	-------------

7	(1)	$12x + 18$	(2)	$-6x + 19y^2$
---	-----	------------	-----	---------------

8	(1)	$-25$	(2)	$-\frac{6}{5}$	(3)	$-\frac{1}{3000}$	(4)	$-\frac{8}{5}$
---	-----	-------	-----	----------------	-----	-------------------	-----	----------------

9	2	倍
---	---	---

10	ア	$2n$	イ	$2n+2$	ウ	$2n+4$	エ	$n+1$
----	---	------	---	--------	---	--------	---	-------

他に言えること  
偶数である。

11  $m, n$  は整数とする。7の倍数は  $7m, 7n$  と表される。  
 $7m + 7n = 7(m+n)$   
 $m+n$  は整数なのでこれは7の倍数である。  
 よって題意は示された。

12  $n$  は整数とする。2の偶数倍の差が4の3つの整数は  
 $n, n+4, n+8$  と表される。  
 $n + (n+4) + (n+8) = 3n + 12 = 3(n+4)$   
 $n+4$  は整数なのでこれは3の倍数である。  
 よって題意は示された。

13	(1)	<table border="1"><tr><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>8</td><td>9</td></tr></table>	6	7	8	9	(2)	<table border="1"><tr><td>S</td><td>S+1</td></tr><tr><td>S+A</td><td>S+A+1</td></tr></table>	S	S+1	S+A	S+A+1
6	7											
8	9											
S	S+1											
S+A	S+A+1											

(3) 斜めごうの2数の和の1つは  $S + (S+1) = 2S+1$  と表す  
 斜めごうの2数の和の1つは  $S+1 + (S+A) = 2S+A+1$  と表す  
 よって題意は示された。